

Over 100 Years
中期経営計画

2022年4月～2025年3月
齋久工業株式会社
SAIKYU KOGYO CO., LTD.

2021年12月1日

新中期経営計画基本方針

中期経営計画の策定にあたって

本中期経営計画の策定にあたっては、右肩上がりの数値を追い求めることだけが企業の成長ではないという発想の転換のもと、具体的かつ抜本的な事業改革に挑戦し、確実な実行と成果を求めてまいります。

今、市場環境はコロナ禍によって、大きな変化の時を迎えています。齋久工業を取り巻く環境もこれまで以上に変化すると共に、企業に対する価値観も変わることは間違いありません。新中期経営計画を確実に実行し、経営改革を果たし、市場の変化に敏感に対応することが、齋久工業の企業価値を高め、全てのステークホルダーの皆様の期待に応え、社会貢献に資するものと考えます。

齋久工業が直面している課題

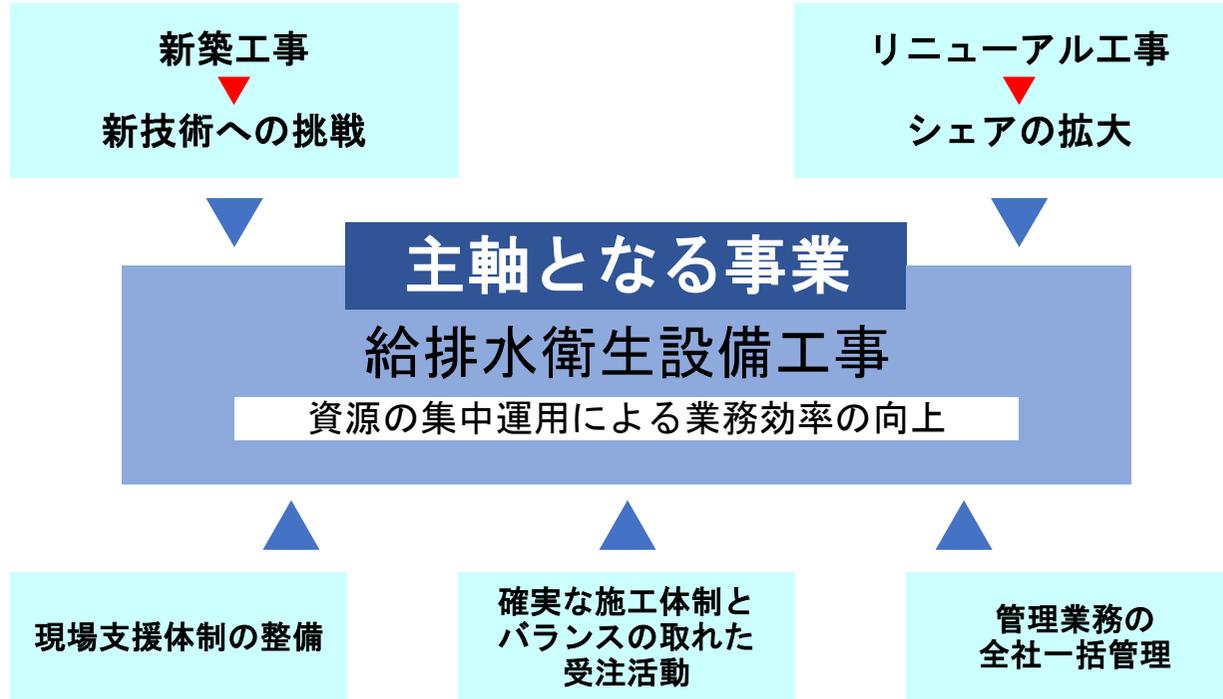
2022年度～2023年度にかけて、手持工事の状況から、社員への負荷がピークを迎えることが確実なため、この期間は政策的に受注量を調整しながら社内改革に取り組み、中期経営計画最終の2024年度以降、工事量と消化能力とのバランスをとりながら、なだらかに安定的に経済価値を高める経営を進めてまいります。

齋久工業の目指す姿

社会のニーズに合致した事業を展開し、全てのステークホルダーの皆様からの信頼と期待に応えるとともに、自由闊達で清新な社風と、健全・安全で働き甲斐のある職場環境を構築し、全ての社員の幸福な生活を支え、人財の充実を背景とした成長をもって、全てのステークホルダーの皆様に貢献する企業を目指します。

中期経営計画・主要施策（1）

中核事業の深耕と強化



全社員で取り組む経営

中期経営計画・主要施策（2）

社員に自信と安心を与える経営

社員の成長に応じた
教育システム

勤務形態の多様化に対応する
社内制度

働きがいと生きがいを与える職場環境

定期的な社員の働きがい意識調査の実施

ダイバーシティの推進による
人財の裾野拡大

組織と個人の改革

中期経営計画・主要施策（3）

非財務資産の充実

技術的資産

情報化資産

社会認知度の向上

積極的な情報発信

CSR・ESG経営の推進

斎久ブランドの構築

中期経営計画・財務目標

単位：百万円		2020年度実績 (第71期)	2021年度見込 (第72期)	2024年度目標 (第75期)
受注工事高		52,223	36,950	42,000
完成工事高	新築工事	45,751	41,000	42,000
	(構成比)	72.6%	75.6%	70.0%
	改修工事	12,527	10,000	12,600
	(構成比)	27.4%	24.4%	30.0%
完成工事利益	利益率	5,721	5,200	5,500
	新築工事	12.5%	12.7%	13.1%
	利益率	2,394	2,790	2,350
	改修工事	7.2%	9.0%	8.0%
	利益率	3,327	2,410	3,150
営業利益	利益率	2,283	1,600	1,900
純利益	利益率	1,593	600	1,500
繰越工事高		81,435	77,385	65,000
社員数(嘱託含む)：人		517	520	550
全社員一人当たり完成高		88	79	76
総資産		51,752	53,000	54,000
純資産		28,475	29,000	30,000
自己資本比率		55.0%	54.7%	55.6%
ROE		5.6%	2.1%	5.0%



中期経営計画・非財務目標

齋久工業は、中期経営計画において以下の非財務目標を設定し、社会価値の実現を通じた企業価値の向上を推進してまいります。

計画	目標項目	2024年度目標値	備考
安全に対する取組み	全度数率	0.50以下	死傷者数÷延労働時間 ×1,000,000
技能者に対する取組み	建設キャリアアップ システム運用率	100%実施	元請額5,000万円以上を対象
ステークホルダー への取組み	顧客満足度	100%	顧客アンケートによる
	社員満足度	100%	社員アンケートによる
ガバナンスへの取組み	重大な法令違反	0件	

直接計数化が困難な非財務目標につきましては、次項以降に掲げるCSR・ESG経営を推進し、社会価値の向上を図り、経済価値との相乗効果によって企業価値の向上に努め、持続的な成長を目指してまいります。

中期経営計画とCSR・ESG経営

齋久工業のCSR

齋久工業は、経営理念に基づいた事業活動こそが、企業としての社会的責任を果たし、持続可能な社会の実現に貢献するものと考えています。経営理念に基づく綱領とCSR経営を一体のものと位置づけ、社会のニーズに合致した事業内容・ステークホルダーからの信頼・自由闊達で清新な社風を三本柱に、誠実で健全な企業経営に努め、人と社会の期待に技術をもって応えてまいります。

CSR基本方針

齋久工業は下記のとおり基本方針を定め、CSR経営を推進します。

尚、基本方針に反する事態が発生した場合は、経営トップ自らが率先して問題解決にあたり、原因究明と再発防止に努めます。

1. 経営トップの率先垂範
2. 公正で透明性の高い経営の推進
3. 環境保全活動の積極的な推進
4. 社会のニーズに合致するサービスの提供
5. 安全で健康的な職場環境の整備
6. 従業員の意欲向上と能力開発に資する制度の整備
7. 社会との積極的なコミュニケーションの実施
8. 上記CSR推進のための体制整備

ESG経営への取り組み

ESGの考え方と取り組み

社会的責任を果たすことは、社会的責任への対応能力を問われることでもあります。齋久工業は、事業を通じた社会課題への対応能力を強化するため、経営理念と綱領、中期経営計画を中核として、ステークホルダーの皆様とコミュニケーションを密に取りながら、ESG活動に継続的に取り組んでまいります。

1. 環境保全への取り組み

ENVIRONMENT

持続可能な地球環境の実現のため、事業活動の全てのプロセスと職場環境において、地球環境の保全・保護に取り組めます。

2. ステークホルダーの利害の尊重

SOCIAL

良き企業市民として、社会のニーズに応え、信頼される企業であり続けるための取り組みを推進します。

3. 公正で透明性の高い企業経営

GOVERNANCE

コーポレートガバナンスの充実、コンプライアンスの徹底、内部統制の強化等に努め、公正で透明性の高い企業経営を推進します。

斎久工業の経営理念・綱領とSDGsへの取り組み

経営理念

快適で安全な生活を支える高品質な設備およびサービスを提供する

斎久工業は持続可能な開発目標（SDGs）への取り組みを事業プロセスにブレークダウンし、社内への啓発活動とESG経営を推進してまいります。

綱 領		SDGs17の目標			
1	会社の発展繁栄をはかり、併せて社員の生活向上をはかる	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに		
2	技術の向上をはかり、よりよい技術を提供する	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 住み続けられるまちづくりを
3	適切なサービスにより、高品質を保証する	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう
4	人材の育成につとめ、組織の活性化をはかる	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	10 人や国の不平等をなくそう	
5	安全管理を充実し、職場環境の改善をはかる	3 すべての人に健康と福祉を	8 働きがいも経済成長も	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリーシップで目標を達成しよう

本資料に記載されている業績目標及び将来見通しに関する情報は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて合理的であると判断したものであります。従いまして、実際の業績等は、様々な要因の変化により記載されている業績目標と大きく異なる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

齋久工業株式会社